

技能検定職種数の推移（平成14年度～）

	新設	統廃合	指定試験機関 方式への移行	増減	累計 (カッコ内は都道府県 方式の職種数)
平成14年度	④ (ファイナンシャル・プランニング、金融窓口サービス、レストランサービス、ガラス用フィルム施工)	—		4	137 (131)
平成15年度	—	—		—	137 (131)
平成16年度	① (情報配線施工)	① (眼鏡レンズ加工)	1 (ビル設備管理)	—	137 (131)
平成17年度	—	—		—	137 (129)
平成18年度	—	—		—	137 (129)
平成19年度	② (ウェブデザイン、知的財産管理※)	③ (家庭用電気治療器調整、ほうろう加工、浴槽設備施工：いずれも廃止)		▲ 1	137 (129)
平成20年度	① (キャリア・コンサルティング)	① (工業彫刻：機械加工へ統合)		—	136 (126)
平成21年度	① (着付け)	① (スレート施工：廃止)		—	136 (125)
平成22年度	② (ピアノ調律、ハウスクリーニング)	② (ファインセラミックス製品製造、漆器製造：いずれも廃止)		—	136 (124)
平成23年度	—	⑦ (金属研磨仕上げ、製材のご目立て、竹工芸、ガラス製品製造、れんが積み、コンクリート積みブロック施工、建築図面製作：いずれも廃止)		▲ 7	136 (122)
平成24年度	—	① (木工機械整備：機械木工に統合)		▲ 1	129 (115)
平成25年度	—	—		—	128 (114)
平成26年度	—	—		—	128 (114)
平成27年度	—	① (複写機組立て：廃止)	1 (機械保全)	▲ 1	128 (113)
平成28年度	—	① (木型製作：廃止)	—	▲ 1	127 (112)
平成29年度	② (接客販売、フィットネスクラブ・マネジメント)			2	128 (111)

※ 新設職種はいずれも指定試験機関方式の職種 統廃合職種はいずれも都道府県機関方式の職種

※ ○で囲った数字は、当該年度に施行、同年度の試験実施計画に反映されているもの（平成19年度の知的財産管理のみ、次年度からの反映。）。

□で囲った数字は、翌年度の試験実施計画に反映されているもの。